加賀市健康福祉審議会高齢者分科会
令和８年度　第３回

資料１

1. 高齢者お達者プランの策定状況について
在宅介護実態調査について

加賀市健康福祉部介護福祉課

令和８年10月15日

在宅介護実態調査

目的	第10期介護保険事業計画の策定において、これまでの「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を盛り込むため、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスのあり方を検討する。	
調査対象者	在宅で生活をしている要支援・要介護認定者 （ただし、施設等の入居者を除く）	
発送日	令和8年3月2日　　（回収期間：3月27日まで）	
発送数	1，870件（郵送方式）	
回収数	925件（回収率：49.5%）	
調査項目数	26項目	
設問内容	【基本調査項目（国基準）】(第2回で報告済) ・世帯類型 ・サービス利用状況 ・介護保険サービス以外の支援やサービス利用状況 ・施設等への入居・入所の希望 ・家族等の介護の有無 ・介護者の就労制約の可否に係る意識 ・家族等介護者が不安に感じている介護	【市独自項目】（今回報告） ・介護者の主観的健康感 ・現在のサービスで不足していることや必要としている支援内容 ・ケアマネジャーの業務範囲外の仕事の状況 ・介護機器を活用したサービスについて
その他	回収後、認定情報と関連付け	

市独自項目のまとめ

- 服薬管理が4.2%、家事支援が2.6%、入院時の荷物運びが1.1%、金銭管理が0.9%と少数ではあるが、家族がケアマネジャーに業務範囲外（他機関につなぐべき業務）の仕事を依頼していた(P4)
- 「人材不足が原因により利用できなかった介護保険サービスがあった」と7.4%の回答があり、内訳として通院介助が29.4%、入浴介助が22.1%であった(P5)
- 介護保険サービスでは対応できない場合、「近隣住民・知人に頼っている」「民間サービスを利用している」と12.1%の回答があった(P7)
- 介護機器を活用したサービスの利用は「すでに利用している」が4.8%、「ぜひ利用したい」「どちらかといえば利用したい」が23.9%の回答であった(P7)

検討課題

- 在宅生活の維持に向けた介護保険サービス外の生活支援の充実

- 独居高齢者を支えるための「訪問系を含む組み合わせ」の機能の強化

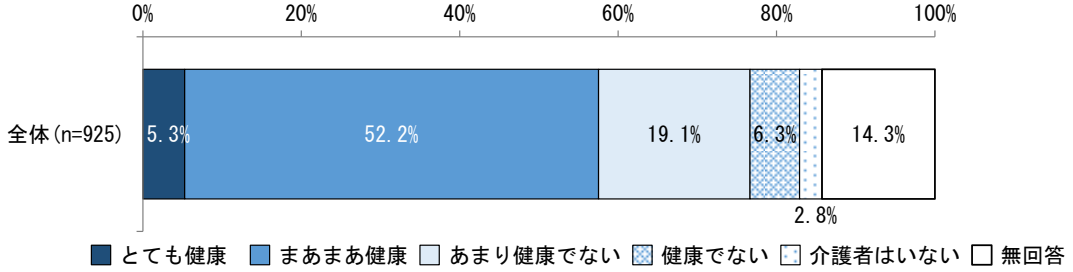
- 介護人材確保策のさらなる拡充

- 在宅生活を支えるうえでのICT機器利用促進に向けた周知

（11）健康感

問 11	主な介護者の健康感は、主観的にどのような状態ですか	１つを選択

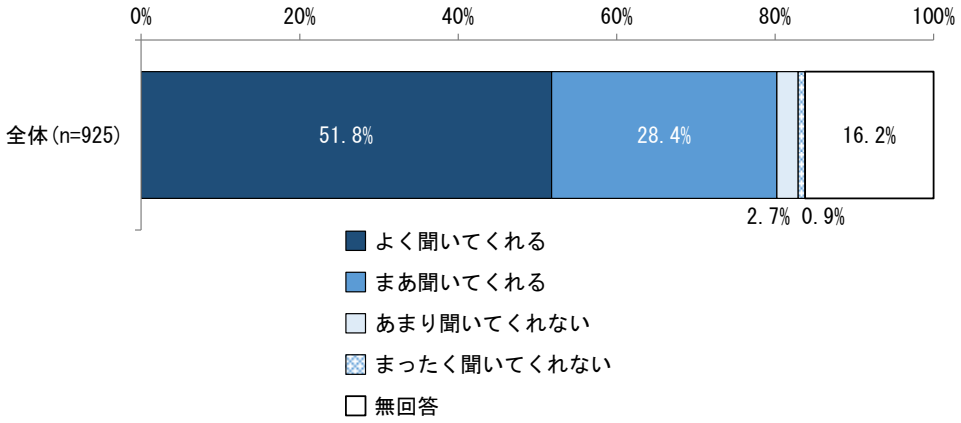
主な介護者の健康感について、「まあまあ健康」が 52.2%で最も高く、次いで「あまり健康でない」が 19.1%、「健康でない」が 6.3%となっています。



（12）介護サービス事業所の職員は話をよく聞いてくれるか

問 12	介護サービス事業所（ケアマネジャー、ヘルパー、デイサービス等）の職員は、困っていること、不安、求めていること等の話をよく聞いてくれますか	１つを選択

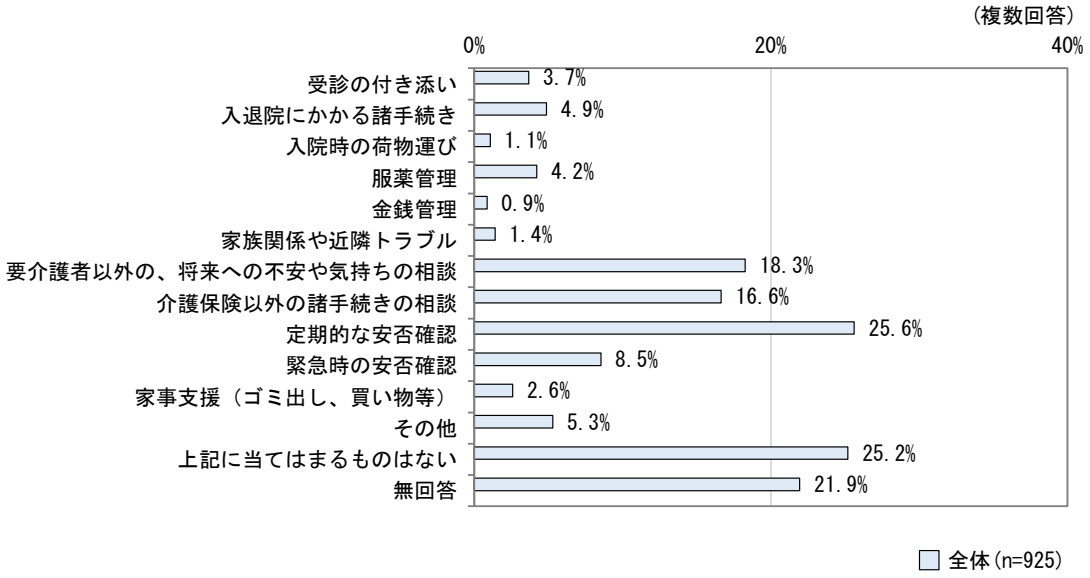
介護サービス事業所の職員が話をよく聞いてくれるかについて、「よく聞いてくれる」が 51.8%で最も高く、次いで「まあ聞いてくれる」が 28.4%、「あまり聞いてくれない」が 2.7%となっています。



（13）ケアマネジャーに依頼もしくはケアマネジャー自身が行っている内容

問 13	ケアマネジャーに依頼している、ケアマネジャー自身が行っている内容について、当てはまるものがあれば選んでください	複数選択可

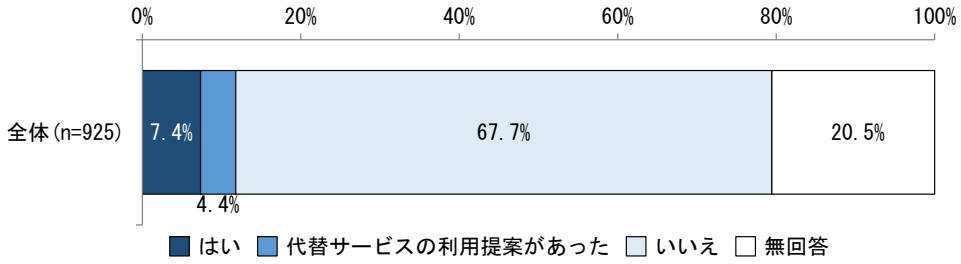
ケアマネジャーに依頼しているもしくはケアマネジャー自身が行っている内容について、「定期的な安否確認」が 25.6%で最も高く、次いで「上記に当てはまるものはない」が 25.2%、「要介護者以外の、将来への不安や気持ちの相談」が 18.3%となっています。



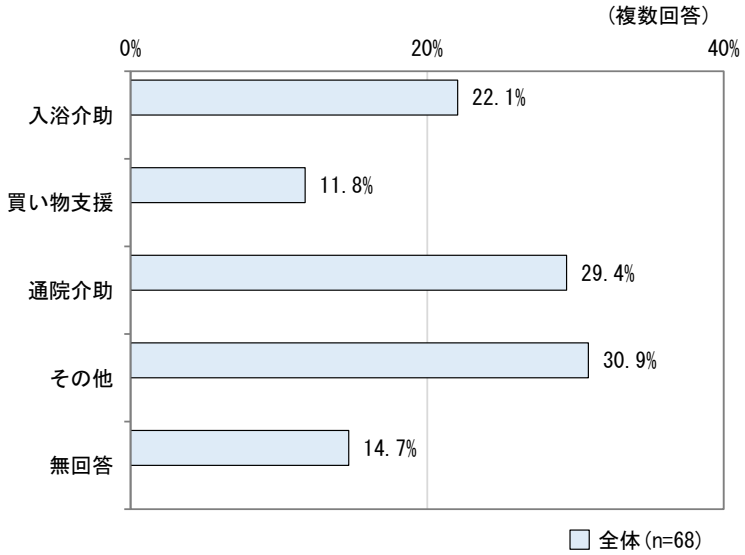
（14）人材不足が原因により利用できなかった介護保険サービスの有無

問 14	ケアマネジャーに介護保険サービスの相談をした際に、人材不足が原因により利用できなかったことはありますか	１つを選択

人材不足が原因により利用できなかった介護保険サービスがあるかについて、「いいえ」が 67.7%で最も高く、次いで「はい」が 7.4%、「代替サービスの利用提案があった」が 4.4%となっています。



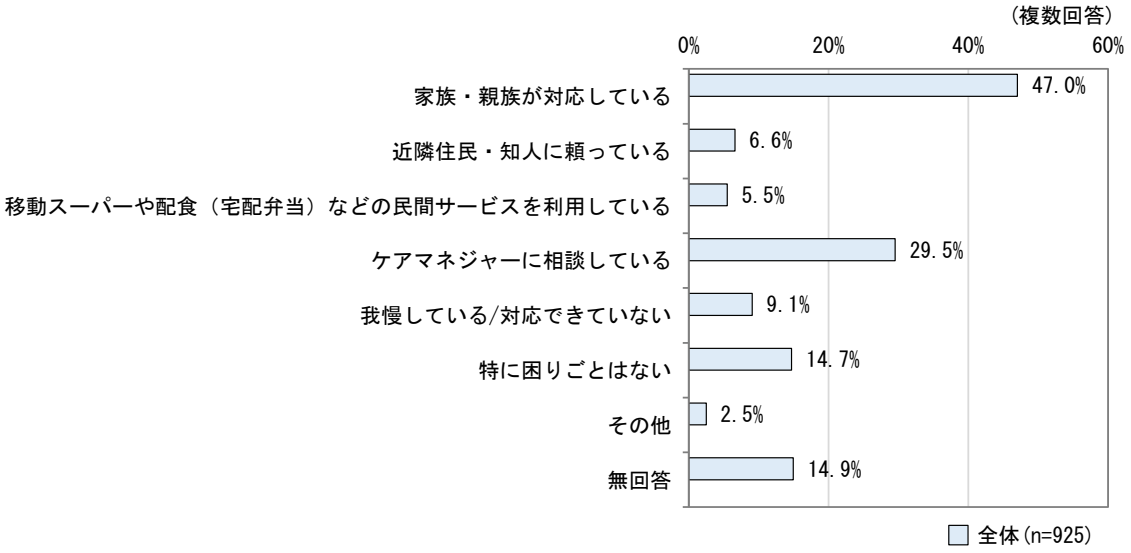
また、利用できなかった介護保険サービスについて、「通院介助」が 29.4%で最も高く、次いで「入浴介助」が 22.1%、「買い物支援」が 11.8%となっています。



（15）介護保険サービスでは対応できない困りごとが生じた場合の対応

問 15	介護保険サービスでは対応できない困りごとが生じた場合、主にどのように対応していますか	複数選択可

介護保険サービスでは対応できない困りごとへの対応として、「家族・親族が対応している」が 47.0%で最も高く、次いで「ケアマネジャーに相談している」が 29.5%、「特に困りごとはない」が 14.7%となっています。



（16）位置情報提供サービス、センサーチャイム、見守りカメラを活用したサービスの利用について

B問 16	位置情報提供サービス、センサーチャイム、見守りカメラを活用したサービスがあった場合、利用したいと思いますか	１つを選択

位置情報提供サービス、センサーチャイム、見守りカメラを活用したサービスを利用したいかについて、「どちらともいえない」が 27.7%で最も高く、次いで「あまり利用したいとは思わない」が 17.5%、「どちらかといえば利用したい」が 13.7%となっています。

